

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (ひだ荘川ふるさと祭り開催事業)		担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	3341
予算	会計	1	一般	特別 位置 付け	<input type="radio"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		<input type="radio"/> B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		<input type="radio"/> C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	観光振興費		<input type="radio"/> D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光施設を新たな観光資源として積極的に活用します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント来場者・荘川町民	対象者数	6,000 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・地域住民が参加しイベントを行い観光客の交流人口の増大を図る ・地場産業の活性化を図る ・次世代に受け継がれる郷土芸能の保存		
	事業の実施手法(手段)	・30頭の連獅子、荘川民謡や郷土芸能の披露と招待獅子の披露 ・郷土料理や特産品の販売		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・平成24年10月14日(日)イベント開催 ・町内の各神社で受け継がれている獅子舞の披露と各神社から集められた獅子30頭による日本一の連獅子の披露 ・荘川民謡や郷土芸能の披露 ・招待芸能の披露 ・荘川特産品や郷土料理の販売					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	ふるさと祭りチラシ新聞折り込み枚数	枚	目標値	131,310	130,960	130,960
		算出根拠等	配布件数	実績値	131,310	130,960	-
		達成率(%)	100	100	-	-	
	活動指標	ふるさと祭り運営会議開催	回	目標値	9	9	9
		算出根拠等	開催回数	実績値	9	9	-
		達成率(%)	100	100	-	-	
	成果指標	ふるさと祭り来場者数	人	目標値	5,500	5,500	5,500
		算出根拠等	当日来場者数	実績値	5,000	6,000	-
		達成率(%)	91	109	-	-	
	成果指標	荘川地域10月の観光客入込客数	人	目標値	60,000	60,000	60,000
		算出根拠等	観光客入込調査	実績値	62,885	51,718	-
		達成率(%)	105	86	-	-	
	成果指標	イベント出店者売り上げ額	千円	目標値	2,500	2,500	2,000
算出根拠等		売上額	実績値	2,429	2,391	-	
達成率(%)		97	96	-	-		
成果指標	荘川町民参加率	%	目標値	25	25	25	
	算出根拠等	荘川町民参加者(332人)/10月荘川町人口(1,252人)	実績値	25	26	-	
	達成率(%)	100	104	-	-		
補足事項							
紅葉の時期に合わせて行うイベントで、毎年多くの来場者で賑わう。今回で25回目を迎え、毎年地域住民が一丸となって取り組んで続けている。また、各神社の獅子舞や荘川民謡など荘川地域の伝統芸能がふるさと祭りを通して、受け継がれている。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	4,946	4,999	4,500	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			4,946	4,999	4,500	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	989	833	818		
	受益者	イベント来場者数(10月14日)	(B)	5,000	6,000	5,500	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・毎年10月の第3日曜日は「ふるさと祭り」として定着しており、多くの来場者がリピーターとして訪れている。また、地域全体がイベントに参加して盛り上げており、地域の活性化にもつながっている。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	荘川地域が一番大きなイベントで、地域が一丸となり取り組んでいる。地域の活性化にもつながっている。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	地域全体で取り組み、地域の伝統芸能の保存と伝承につながっている。またイベントの開催により観光客の集客にもつながっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	チラシやポスターの配布先や印刷枚数、各委託料などの支出の見直しを最低限にしコストの削減に努めている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	地域特有の文化を大切な観光資源として活用し、観光客の集客に効果があった。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・イベント実行委員会が主体となり、地域で自主的に運営できるようイベントの見直しを行い、事業の継続を目指す。 ・荘川町全体が参加し開催しているが、特にイベントの目玉「30頭の連獅子」は、参加する地域住民の高齢化が進み後継者不足が懸念される。
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントの在り方について検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・今後のイベントの方向性を決定しなければならない。
-----------------	---------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・地域における伝統芸能の保存、継承また、交流人口の増加による地域振興を図るため重要な事業である。 ・特例期間終了となるため、自己財源の確保に努め事業継続に向けての話し合いを行う。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (ひだ庄川清流あまご・やまめ釣り大会)		担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	3341
予算	会計	1	一般	特別 位置 付け	<input type="radio"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		<input type="radio"/> B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		<input type="radio"/> C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	観光振興費		<input type="radio"/> D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光施設を新たな観光資源として積極的に活用します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント参加者	対象者数	139 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・荘川地域に数多くの釣りファンを招き、自然と清流の釣りのメッカとしての地位を確立する。 ・釣りのみならず、他のイベントや各観光施設に訪れる機会を創出する事で交流人口の増加と地域振興が図られる。		
	事業の実施手法(手段)	・年に1~2回の釣り大会の開催 ・大会前日は、旅館組合に加入している宿泊施設に宿泊し、宿泊代と参加費をセットにし参加者を募集する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	平成24年5月27日(日)と平成24年9月9日(日)の2回開催					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	あまご・やまめ釣り大会開催回数	回	目標値	2	2	2
				実績値	1	2	-
	活動指標	算出根拠等	大会開催回数	達成率(%)	50	100	-
				目標値	5,569	4,825	5,392
	活動指標	算出根拠等	交付件数	実績値	4,661	5,501	-
				達成率(%)	84	114	-
	成果指標	あまご・やまめ釣り大会参加者	人	目標値	140	140	140
				実績値	65	139	-
	成果指標	算出根拠等	参加者数	達成率(%)	46	99	-
				目標値	50,000	50,000	50,000
	成果指標	荘川町宿泊者数(1月~12月)	人	目標値	50,000	50,000	50,000
				実績値	49,327	53,064	-
	成果指標	算出根拠等	宿泊者数	達成率(%)	99	106	-
目標値				1,260	1,050	1,050	
成果指標	イベント時宿泊売上推計	千円	実績値	488	1,043	-	
			達成率(%)	39	99	-	
成果指標	算出根拠等	参加者数×宿泊料金(7,500円)	目標値	140	140	140	
			実績値	65	139	-	
成果指標	算出根拠等	イベント宿泊者数	達成率(%)	46	99	-	
			補足事項				
昭和55年から開催されているイベントで、多くの釣り客がリピーターとなり毎年参加している。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 397	499	300		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		397	499	300		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 6,108	3,590	2,143		
	受益者	イベント参加者(5月27日、9月9日)	(B) 65	139	140		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	宿泊が条件のイベントで庄川漁業協同組合や荘川旅館組合などからのニーズがある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	今後は、イベント実行委員会が独自の事業として実施できるよう、段階的な負担金の削減が必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	毎年行っているイベントでリピーターも多く、旅館や民宿への宿泊者も増加し成果はある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	ボランティア等でイベントを準備しコストの削減に努めた。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	イベントの開催により多くの釣りファンを呼び込み、イベント以外にも釣りに訪れる方が増えている。また、釣り以外にも各観光施設へ訪れるきっかけとなり、地域振興にもつながっている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	毎年多くのリピーターが訪れるが、新たな参加者が少ないためより多くの人に参加してもらえようという取り組みが必要である。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各県効果について分析を行い、各イベントの在り方について検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・自己財源の確保に努め、自立した事業実施を指導する。
-----------------	----------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・事業内容の見直しを行う。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各県効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (ひだ荘川ふるさと夏まつり開催事業)		担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	3341
予算	会計	1	一般	特別 位置 付け の 予算	<input type="radio"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		<input type="radio"/> B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		<input type="radio"/> C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	観光振興費		<input type="radio"/> D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全トヨタ労働組合連合会組合員・荘川町民	対象者数	326,000 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して飛騨荘川ふるさと村づくりの取り組みや、組合員のふるさととして、多くの方に季節を問わず荘川へ訪れていただき、町民との交流による地域の活性化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して夏に1泊2日の宿泊型イベントを開催(荘川地域の民謡による盆踊り会・花火打ち上げ・星空観察会・魚つかみ・地元の食材や郷土料理によるバーベキュー)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	平成24年7月28日(土)～29日(日) 1泊2日のイベントの開催 荘川地域の民謡による盆踊り会・花火打ち上げ・星空観察会 魚つかみ・地元の食材や郷土料理によるバーベキュー・じゃがいも収穫体験					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	イベント時参加者にパンフレット配布	組	目標値	75	130	130
				実績値	75	130	-
				算出根拠等	配布数	達成率(%)	100
	活動指標	荘川町宿泊者数(1月～12月)	人	目標値	50,000	50,000	50,000
				実績値	49,327	53,064	-
				算出根拠等	宿泊者数	達成率(%)	99
	成果指標	組合員ふるさと村役場来村者数	人	目標値	6,400	6,400	6,400
				実績値	6,400	6,500	-
				算出根拠等	来村者数	達成率(%)	100
	成果指標	ふるさと夏まつり参加者数	人	目標値	650	650	650
				実績値	568	800	-
				算出根拠等	参加者数	達成率(%)	87
	成果指標	宿泊者数(イベント期間中)	人	目標値	450	550	550
実績値				360	550	-	
算出根拠等				宿泊者数	達成率(%)	80	100
成果指標	算出根拠等		目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
全トヨタ労連に加入している各労働組合が、定期的に荘川町で研修会やイベントを開催するため、宿泊施設や各商店など地域の活性化につながっている。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	2,689	2,999	2,900	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			2,689	2,999	2,900	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,734	3,749	4,462		
コスト 指標	受益者	イベント参加者(7月28日～29日)	(B)	568	800	650	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	全トヨタ労働組合の組合員が多く参加するイベントで、イベントに必要な材料は大量になり、すべてを市内から購入している事から、地域の活性化につながりニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	全トヨタ労働組合は全国各地に組合員を持っている大きな組織で、毎年多くの組合員が第二のふるさととして荘川地域を訪れている。全トヨタ労働組合と市が今後も連携を取り進めていく必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	一年を通して、組合員が荘川町を訪れ、宿泊施設や観光施設を利用して、成果が上がっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	イベント運営は、全トヨタ労連の運営委員の他、町内のボランティアで行っており、人件費の削減に努めている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	毎年多くの組合員が荘川地域を訪れており地域の活性化につながっている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを何が必要なのかを記入)	・全国規模の全トヨタ労連の影響は大きく、毎年安定した集客数が見込まれる。今後は、より多くの組合員が訪れるよう地域の宣伝活動が必要である。 ・組合員と荘川町民の交流の場が少ないため、地域住民との交流の場が増えるような内容を検討する。
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントの在り方について検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・全トヨタ労連と連携を取り、組合員に荘川地域の宣伝活動を行う。 ・組合員と荘川町民が交流できるような場を検討する。 ・企画内容の見直しが必要である。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・全トヨタ労連との連携により継続する。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、イベントのあり方について検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (ひだ荘川ふるさと雪まつり)		担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	3341
予算	会計	1	一般	特別 位置 付け の 予算	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	観光振興費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全トヨタ労働組合連合会組合員・荘川町民	対象者数	326,000 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して飛騨荘川ふるさと村づくりの取り組みや、組合員のふる里として多くの方に季節を問わず荘川へ訪れていただき、町民との交流による地域の活性化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して冬に1泊2日の宿泊型イベントを開催(雪遊び・雪像作り・昔ながらの臼と杵での餅つき・地元の食材や郷土料理によるバーベキュー・星空観察)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	平成25年2月16日(土) 1泊2日のイベントの開催 雪遊び・雪像作り・昔ながらの臼と杵での餅つき・地元の食材や郷土料理によるバーベキュー・星空観察				
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
活動指標	イベント時パンフレット配布枚数	組	目標値	34	40	30
			実績値	34	30	-
成果指標	荘川町宿泊者数(1月~12月)	人	目標値	50,000	50,000	50,000
			実績値	49,327	53,064	-
成果指標	組合員ふるさと村役場来村者数	人	目標値	6,400	6,400	6,500
			実績値	6,400	6,500	-
成果指標	ふるさと雪まつり参加者数	人	目標値	250	270	260
			実績値	270	260	-
成果指標	宿泊者数(イベント期間中)	人	目標値	150	150	150
			実績値	150	160	-
算出根拠等	宿泊者数		達成率(%)	100	107	-
			目標値			
算出根拠等			実績値			-
			達成率(%)			-
補足事項						
全トヨタ労連に加入している各単組組合が、定期的に荘川町で研修会やイベントを開催するため、宿泊施設や各商店など地域の活性化につながっている。						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
	歳出(千円)		(A) 1,311	1,001	1,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
コスト指標	一般財源		1,311	1,001	1,000	
	受益者1件当たり(円)		(A/B) 4,856	3,850	3,846	
コスト指標	受益者					
	イベント参加者(2月16日)		(B) 270	260	260	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	全トヨタ労働組合の組合員が多く参加するイベントで、イベントに必要な材料は大量になり、すべてを市内から購入している事から、地域の活性化につながりニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	全トヨタ労働組合は全国各地に組合員を持っている大きな組織で、毎年多くの組合員が第二のふるさととして荘川地域に訪れている。全トヨタ労働組合と市が今後も密に連携を取り進めている。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	一年を通して、組合員が荘川町を訪れ、宿泊施設や観光施設を利用して、成果が上がっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	イベント運営は、全トヨタ労連の運営委員の他、町内のボランティアで行っており、人件費の削減に努めている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	毎年多くの組合員が荘川地域を訪れており地域の活性化につながっている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを何が必要なのかを記入)	・全国規模の全トヨタ労連の提供は大きく、毎年安定した集客数が見込まれる。今後は、より多くの組合員が訪れるよう地域の宣伝活動が必要である。 ・組合員と荘川町民の交流の場が少ないため、地域住民との交流の場が増えるような内容を検討する。
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各社効果について分析を行い、各イベントの在り方について検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・全トヨタ労連と連携を取り、組合員に荘川地域の宣伝活動を行う。 ・組合員と荘川町民が交流できるような場を検討する。 ・企画内容の見直しが必要である。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・全トヨタ労連との連携により継続する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各社効果について分析を行い、イベントのあり方について検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	21899	地域自然環境保全事業費 (ササユリ群生地保護活動助成事業)	担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3311
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	18 環境政策費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画					
市長公約	8	・豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を作ります。 ・環境保全に取り組みます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町惣則地区住民	対象者数	63 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・全国的にも年々減少傾向にある「ササユリ」の保護及び育成 ・景観重点区域の保全のため、電牧柵の設置、雑木撤去、草刈、群生地地域の監視など地域が一丸となって活動実施 ・ササユリの保護及び育成を通して、惣則地域の景観保全や、地域住民の協調性を再確認し、自然と共存するやさしいまちづくりを目指す。		
	事業の実施手法(手段)	・電牧柵の設置及び撤去 ・地域内の雑木除去及び草刈り ・地域内の監視及び手入れ		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・電牧柵の設置及び撤去、雑木除去や草刈などの清掃管理など、地域が一丸となって保護活動を実施 ・集落の魅力を体感し、楽しんでいただくきっかけづくりのための「ささゆり群生地周辺マップ」を作成 ・開花時期に訪れる観光客にマップの配布等、積極的に案内を行っている。 ・ササユリ保護・育成活動を通じ、農山村景観の保全の大切さを再認識し、地域住民が一体となって取り組んでいる。					
	指標名 単位 目標・実績 H23 H24 H25						
	活動指標	清掃・草刈活動(4月から9月・毎月)	回	目標値	6	6	6
		算出根拠等	実績回数	実績値	6	6	-
		算出根拠等	実施回数	達成率(%)	100	100	-
	活動指標	電牧柵設置・撤去等	回	目標値	2	2	2
		算出根拠等	実績値	実績値	2	2	-
		算出根拠等	実施回数	達成率(%)	100	100	-
	成果指標	ササユリの開花数	本	目標値	10,000	10,200	13,000
		算出根拠等	開花数	実績値	10,000	10,000	-
		算出根拠等	開花数	達成率(%)	100	98	-
	成果指標	観光客数	人	目標値	900	1,000	1,100
		算出根拠等	観光客数	実績値	900	600	-
		算出根拠等	観光客数	達成率(%)	100	60	-
	算出根拠等			目標値			
			実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
・惣則地区は限界集落であり、地域の誇りとしての「景観形成」(景観重点区域)や「宝」であるササユリを懸命に守っている。 ・ササユリの開花時期には、訪れる方々に対し観光案内を行っている。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	130	130	130	
	受益者負担(使用料・負担金等)			0	0	0	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			0	0	0	
	一般財源			130	130	130	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/ B)	1,940	1,940	2,063		
	受益者	荘川町惣則地区住民(4月1日現在)	(B)	67	67	63	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・全国的にも年々減少傾向にある「ササユリ」であるが、地域ぐるみで保護・育成に取り組みニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・自然と共存する環境保全のために自主的な活動を支援する必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・ササユリ保護に関して、周囲の草刈りや電牧柵の設置が行われ、開花時には多くの観光客がおとづれている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・群生地(約5.5a)の電牧柵・草刈りなど、最小限の経費で保護活動を行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・景観重点区域であり、ササユリの保護活動を行っていることは、地域に残る美しい農山村景観の保全が進められており、個性ある景観の保全に繋がっている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・ササユリ保護・育成のため、惣則地域が地域ぐるみで活動を行っているが、地域の高齢化率が高く、後継者の育成が大きな課題となっている。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・自然環境の保護・保全に取り組む市民団体等に対する支援のあり方について整理する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域の魅力を体感していただくために作成した散策マップにより、観光客が農山村を楽しんでもらうためのきっかけとなるよう周知する。 ・景観重点区域であり、ササユリを通じて農山村景観の保全活動を行っているが、後継者不足が問題となっており活動のあり方を検討する。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・電牧柵の設置や草刈を継続し、ササユリを保護・育成する。 ・景観重点区域の美しい農山村景観を守っていくため、ササユリの保護や育成を通じ、地域住民の意識向上を図る。 ・多くの方に農山村景観を体感いただけるようPRを行う。									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものと整合を図りながら、今後の支援のあり方を検討する必要がある。									

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3322
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	3	民生費		○	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3	老人福祉費		D	その他事業	
根拠計画	高山市老人福祉計画						
市長公約	5	医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	対象者数	572
	どういった状態にしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標 連合長寿会会員数</td> <td rowspan="2">人</td> <td>目標値</td> <td>10,500</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>9,796</td> <td>9,584</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>目標会員数/会員数の実績</td> <td>達成率(%)</td> <td>93</td> <td>96</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標 連合長寿会単位老人クラブ数</td> <td rowspan="2">クラブ</td> <td>目標値</td> <td>150</td> <td>143</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>143</td> <td>139</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>目標クラブ数/クラブ数の実績</td> <td>達成率(%)</td> <td>95</td> <td>97</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標 連合長寿会加入率</td> <td rowspan="2">%</td> <td>目標値</td> <td>43</td> <td>40</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>39</td> <td>38</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>連合長寿会加入者数/65歳以上人口</td> <td>達成率(%)</td> <td>91</td> <td>95</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標 荘川地区連合長寿会会員数</td> <td rowspan="2">人</td> <td>目標値</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>223</td> <td>227</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>目標会員数/会員数の実績</td> <td>達成率(%)</td> <td>89</td> <td>91</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標 荘川地区連合長寿会単位老人クラブ数</td> <td rowspan="2">クラブ</td> <td>目標値</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>目標クラブ数/クラブ数の実績</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標 荘川地区連合長寿会加入率</td> <td rowspan="2">%</td> <td>目標値</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>48.2</td> <td>48.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>連合長寿会加入者数/65歳以上人口</td> <td>達成率(%)</td> <td>96</td> <td>97</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標 連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000	実績値	9,796	9,584	-	算出根拠等	目標会員数/会員数の実績	達成率(%)	93	96	-	活動指標 連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139	実績値	143	139	-	算出根拠等	目標クラブ数/クラブ数の実績	達成率(%)	95	97	-	成果指標 連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	38	実績値	39	38	-	算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	91	95	-	活動指標 荘川地区連合長寿会会員数	人	目標値	250	250	250	実績値	223	227	-	算出根拠等	目標会員数/会員数の実績	達成率(%)	89	91	-	活動指標 荘川地区連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	4	4	4	実績値	4	4	-	算出根拠等	目標クラブ数/クラブ数の実績	達成率(%)	100	100	-	成果指標 荘川地区連合長寿会加入率	%	目標値	50	50	50	実績値	48.2	48.7	-	算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	96	97	-
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																																					
	活動指標 連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000																																																																																																					
			実績値	9,796	9,584	-																																																																																																					
	算出根拠等	目標会員数/会員数の実績	達成率(%)	93	96	-																																																																																																					
	活動指標 連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139																																																																																																					
			実績値	143	139	-																																																																																																					
	算出根拠等	目標クラブ数/クラブ数の実績	達成率(%)	95	97	-																																																																																																					
	成果指標 連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	38																																																																																																					
			実績値	39	38	-																																																																																																					
	算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	91	95	-																																																																																																					
	活動指標 荘川地区連合長寿会会員数	人	目標値	250	250	250																																																																																																					
			実績値	223	227	-																																																																																																					
	算出根拠等	目標会員数/会員数の実績	達成率(%)	89	91	-																																																																																																					
	活動指標 荘川地区連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	4	4	4																																																																																																					
			実績値	4	4	-																																																																																																					
	算出根拠等	目標クラブ数/クラブ数の実績	達成率(%)	100	100	-																																																																																																					
	成果指標 荘川地区連合長寿会加入率	%	目標値	50	50	50																																																																																																					
			実績値	48.2	48.7	-																																																																																																					
算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	96	97	-																																																																																																						
補足事項																																																																																																											
高山地域全体の加入率に加え、荘川地区の加入率等も成果指標とした。																																																																																																											
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																																						
	歳出(千円)		(A) 420	420	420																																																																																																						
	受益者負担(使用料・負担金等)																																																																																																										
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		162	150	280																																																																																																						
	一般財源		258	270	140																																																																																																						
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,883	1,850	1,826																																																																																																							
	受益者	荘川地区会員数(4月1日現在)	(B) 223	227	230																																																																																																						

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・高齢者が住み慣れた地域で、他の高齢者や住民と交流を持ちながら健康で日常生活を送るための活動として、市民の関心は高く、地域活動にも根付いているが、高齢者のニーズの多様化により加入率が低下している。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市は、老人福祉法(第十条の三第一項)の規定により、老人クラブなどの老人福祉を推進する目的とする事業を行う者の活動の連携及び調整、地域の実情に応じた体制整備に努めなければならないため。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・老人クラブ加入者は、年々減少傾向であるため、長寿会の組織の見直しや活動内容の充実に取り組んでいる。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・支所地域長寿会事務局の人員費補助として、最小限の経費である。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・長寿会活動に参加することにより、高齢者の健康増進と閉じこもり予防が図れた。また、高齢者に多い病気に対する理解を深めることができた。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。 ・荘川地域においては、自然体験活動の指導者になっていただくなど、仲間づくりや生きがいづくりにつながるよう取り組みを行う。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (荘川桜観光対策事業)		担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	3341
予算	会計	1	一般	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	観光振興費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川桜来客数	対象者数	33,073 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	樹齢500年以上の荘川桜が開花する4月下旬から5月上旬は多くの観光客が荘川に訪れる。岐阜県の三大桜として有名な荘川桜を観光資源として活用し誘客を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・案内看板の設置 ・荘川桜公園駐車場の交通警備委託 ・駐車場環境整備(仮設トイレの設置)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	平成24年4月28日～5月13日まで実施 ・案内看板の設置と荘川桜案内ガイド委託 ・荘川桜公園駐車場の交通警備委託 ・駐車場環境整備(仮設トイレの設置)																																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標</td> <td rowspan="2">日</td> <td>目標値</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>荘川桜開花時交通警備業務日数</td> <td>実績値</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>交通警備業務日数</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td rowspan="2">人</td> <td>目標値</td> <td>30,000</td> <td>50,000</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>荘川桜来客数</td> <td>実績値</td> <td>28,559</td> <td>38,759</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>来客数</td> <td>達成率(%)</td> <td>95</td> <td>78</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td rowspan="2">人</td> <td>目標値</td> <td>120,000</td> <td>200,000</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>荘川町内4・5月の観光客入込数</td> <td>実績値</td> <td>100,395</td> <td>109,938</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>観光客入込客数</td> <td>達成率(%)</td> <td>84</td> <td>55</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td rowspan="2">本</td> <td>目標値</td> <td></td> <td>3,200</td> <td>3,400</td> </tr> <tr> <td>荘川桜二世苗木配布本数(延べ)</td> <td>実績値</td> <td>3,176</td> <td>3,390</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>配布本数</td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td>106</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">補足事項</td> </tr> <tr> <td colspan="5">荘川桜二世を育て、希望者に配布し桜の移植物語を全国に発信している。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コスト面</td> <td colspan="2">事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)</td> <td>H23 決算額</td> <td>H24 決算額</td> <td>H25 予算額</td> </tr> <tr> <td colspan="2">歳出(千円)</td> <td>(A) 2,847</td> <td>1,821</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担(使用料・負担金等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他特定財源(国・県支出金・起債等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源</td> <td>2,847</td> <td>1,821</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>コスト指標</td> <td>受益者1件当たり(円)</td> <td>(A/B) 100</td> <td>47</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td></td> <td>受益者</td> <td>(B) 荘川桜来客数(4月末から5月上旬)</td> <td>28,559</td> <td>38,759</td> <td>30,000</td> </tr> </tbody></table>					指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標	日	目標値	16	16	12	荘川桜開花時交通警備業務日数	実績値	16	16	-	算出根拠等	交通警備業務日数	達成率(%)	100	100	-	成果指標	人	目標値	30,000	50,000	30,000	荘川桜来客数	実績値	28,559	38,759	-	算出根拠等	来客数	達成率(%)	95	78	-	成果指標	人	目標値	120,000	200,000	120,000	荘川町内4・5月の観光客入込数	実績値	100,395	109,938	-	算出根拠等	観光客入込客数	達成率(%)	84	55	-	成果指標	本	目標値		3,200	3,400	荘川桜二世苗木配布本数(延べ)	実績値	3,176	3,390	-	算出根拠等	配布本数	達成率(%)		106	-			目標値						実績値				算出根拠等		達成率(%)				補足事項					荘川桜二世を育て、希望者に配布し桜の移植物語を全国に発信している。					コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	歳出(千円)		(A) 2,847	1,821	2,000	受益者負担(使用料・負担金等)					その他特定財源(国・県支出金・起債等)					一般財源		2,847	1,821	2,000	コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 100	47	67		受益者	(B) 荘川桜来客数(4月末から5月上旬)	28,559	38,759	30,000
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																																																																										
	活動指標	日	目標値	16	16	12																																																																																																																																										
	荘川桜開花時交通警備業務日数		実績値	16	16	-																																																																																																																																										
	算出根拠等	交通警備業務日数	達成率(%)	100	100	-																																																																																																																																										
	成果指標	人	目標値	30,000	50,000	30,000																																																																																																																																										
	荘川桜来客数		実績値	28,559	38,759	-																																																																																																																																										
	算出根拠等	来客数	達成率(%)	95	78	-																																																																																																																																										
	成果指標	人	目標値	120,000	200,000	120,000																																																																																																																																										
	荘川町内4・5月の観光客入込数		実績値	100,395	109,938	-																																																																																																																																										
	算出根拠等	観光客入込客数	達成率(%)	84	55	-																																																																																																																																										
	成果指標	本	目標値		3,200	3,400																																																																																																																																										
	荘川桜二世苗木配布本数(延べ)		実績値	3,176	3,390	-																																																																																																																																										
	算出根拠等	配布本数	達成率(%)		106	-																																																																																																																																										
		目標値																																																																																																																																														
		実績値																																																																																																																																														
算出根拠等		達成率(%)																																																																																																																																														
補足事項																																																																																																																																																
荘川桜二世を育て、希望者に配布し桜の移植物語を全国に発信している。																																																																																																																																																
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																																																																											
	歳出(千円)		(A) 2,847	1,821	2,000																																																																																																																																											
	受益者負担(使用料・負担金等)																																																																																																																																															
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)																																																																																																																																															
	一般財源		2,847	1,821	2,000																																																																																																																																											
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 100	47	67																																																																																																																																												
	受益者	(B) 荘川桜来客数(4月末から5月上旬)	28,559	38,759	30,000																																																																																																																																											

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・荘川桜は岐阜県の三大桜にもあげられ有名な桜となった。移植の物語にまでなる桜で、開花時には多くの観光客で賑わいニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・荘川桜の開花時には多くの観光客が訪れるが、駐車場の狭く駐車可能台数も少ないため、混雑を避けるためには警備員の配置が必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・荘川桜開花時は連休中となり、交通量が増加する時期となるが、警備員の配置により国道の渋滞もなくスムーズにでき成果があがっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・桜の開花時期がぎりぎりまでわからないが、警備員の配置や桜のガイドの委託など調整し、事業の効率化を図った。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	A	・荘川桜の開花時には多くの観光客が訪れるため、駐車場の整備を始め、桜までの案内看板の設置、仮設トイレの設置を行い、環境整備を行うことで、観光客の誘客に効果的であった。
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・荘川桜がきれいに開花するのが二年に一度のペースである事から、開花に合わせた対応が必要である。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、事業のあり方について検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・今年度は、桜の花が少ない年に当たるため、警備員の配置や桜まつりの時期などを精査し対応する。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・1年を通しての誘客についての検討が必要である。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、事業のあり方について検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	72199	地域道路橋りょう管理振興事業費 (市道未登記用地測量事業)	担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	3331
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		○	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 道路橋りょう総務費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画					
市長公約	・個人・家庭・地域を大切に社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	対象者数	1,223 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・未登記路線を整理し、市道の適切な管理を行う。		
概要	事業の実手法(手段)	・市道未登記箇所の測量を行い、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・市道平頭町屋線の一部(面積測量:1713㎡ 分筆登記済数:1筆)																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td rowspan="2">対象路線数</td> <td>目標値</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">目標路線数/実施路線数</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>35,963</td> <td>2,537</td> <td>67,368</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">面積測量</td> <td>目標値</td> <td>20,654</td> <td>1,713</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>57</td> <td>68</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">目標面積/実施面積</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">登記済筆数</td> <td>目標値</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>100</td> <td>8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">目標登記筆数/実施登記筆数</td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">達成率(%)</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">達成率(%)</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">達成率(%)</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">達成率(%)</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標	対象路線数	目標値	1	1	3	実績値	1	1	-	算出根拠等	目標路線数/実施路線数	達成率(%)	100	100	-	実績値	35,963	2,537	67,368	成果指標	面積測量	目標値	20,654	1,713	-	実績値	57	68	-	算出根拠等	目標面積/実施面積	達成率(%)	100	8	-	実績値	2	13	34	成果指標	登記済筆数	目標値	2	1	-	実績値	100	8	-	算出根拠等	目標登記筆数/実施登記筆数	達成率(%)				実績値				算出根拠等	達成率(%)	目標値				実績値				算出根拠等	達成率(%)	目標値				実績値				算出根拠等	達成率(%)	目標値				実績値				算出根拠等	達成率(%)	目標値				実績値			
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																																										
	活動指標	対象路線数	目標値	1	1	3																																																																																																										
			実績値	1	1	-																																																																																																										
	算出根拠等	目標路線数/実施路線数	達成率(%)	100	100	-																																																																																																										
			実績値	35,963	2,537	67,368																																																																																																										
	成果指標	面積測量	目標値	20,654	1,713	-																																																																																																										
			実績値	57	68	-																																																																																																										
	算出根拠等	目標面積/実施面積	達成率(%)	100	8	-																																																																																																										
			実績値	2	13	34																																																																																																										
	成果指標	登記済筆数	目標値	2	1	-																																																																																																										
			実績値	100	8	-																																																																																																										
	算出根拠等	目標登記筆数/実施登記筆数	達成率(%)																																																																																																													
			実績値																																																																																																													
算出根拠等	達成率(%)	目標値																																																																																																														
		実績値																																																																																																														
算出根拠等	達成率(%)	目標値																																																																																																														
		実績値																																																																																																														
算出根拠等	達成率(%)	目標値																																																																																																														
		実績値																																																																																																														
算出根拠等	達成率(%)	目標値																																																																																																														
		実績値																																																																																																														
補足事項																																																																																																																
・未登記路線(15路線)の現状は、登記完了7路線、相続関係を残し一部完了3路線、進行中3路線、未着手は2路線である。進行中の平頭町屋線はH23年度からの3ヶ年である。H25年度は野々俣1号線及び野々俣7号線をH26年度は野々俣6号線及び野々俣10号線を実施する。																																																																																																																
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																																											
	歳出(千円)		(A) 3,950	4,186	7,000																																																																																																											
	受益者負担(使用料・負担金等)																																																																																																															
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)																																																																																																															
	一般財源		3,950	4,186	7,000																																																																																																											
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 3,069	3,286	5,724																																																																																																											
	受益者	荘川地域住民(H25.4.1現在)	(B) 1,287	1,274	1,223																																																																																																											

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・事業を実施することにより、土地の課税対象が明確になる。さらに境界を確認することにより、所有権主張によるトラブルがなくなる。良好な道路管理することは重要であり、市民ニーズも高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市道敷地内の土地所有権を主張されるトラブルを未然に防ぎ、道路管理者として適正な道路管理を行うことで道路利用者(市民)の安全を図ることができる。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・相続登記等、個人の資産に係るため短期間では解決できない。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・用地境界確認の参考資料にするために、関連機関から資料を提供してもらうことにより、立会時間の短縮が図られた。又、調査・測量申請手続き等は一括して土地家屋調査士協会と単価契約を結び業務を遂行している。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・「すみよさ」のあるまちをめざすため、道路用地を確保し適正な道路管理をするための重要性は高い。また、境界を確認することにより、所有権主張のトラブルを防ぎ、かつ、固定資産税の適正課税ができる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)

・過去の経緯が不明なため、市道用地の寄付だけでは理解していただけないケースもあるが、概ね高山市への所有権移転については理解と協力を得られた。しかし、字絵図に不接合の箇所がある場合は、民境界の確定に個々の主張があり時間を必要とする。さらに、未相続の土地や共有地の場合もあり、相続、分筆登記、所有権移転に時間を必要とする。

(参考) H24事業評価結果(二次評価)

・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

・計画に基づき実施しているが、早期完了を目指し前倒しを検討する。

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・平成26年度までに未登記路線を完了できるよう積極的に取り組む。									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。									

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3312
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	社会教育総務費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	4	・個人・家庭・地域を大切に社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	対象者数	1,223 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・高山市民憲章の具現化に努め、明るい環境づくりを推進する。 ・花を育てることで広がる地域内のコミュニケーションづくりを推進する。 ・環境整備とコミュニケーションづくりを継続していき、住みよい地域をつくる。		
	事業の実施手法(手段)	道路沿線及び地域花壇(1,391.4㎡)の花苗、肥料等の購入、植栽及び花壇の管理委託 ○花苗の購入：マリーゴールド20,460本、パンジー13,596本 ○肥料の購入：腐葉土、発酵鶏糞、化成肥料等 ○消耗品の購入：黒マルチ ○管理：土づくり、定植、維持管理		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	道路沿線及び地域花壇(1,391.4㎡)の花苗、肥料等の購入、植栽及び花壇の管理委託(他地域との公平性を考慮し、町内会へ花壇管理業務の委託料の段階的な縮小開始)																																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td rowspan="2">肥料・花苗配布箇所</td> <td>目標値</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">配布先(町内会)件数の達成率</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>38,000</td> <td>35,546</td> <td>34,056</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td rowspan="2">花苗配布本数</td> <td>目標値</td> <td>37,296</td> <td>35,546</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>37,296</td> <td>35,546</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">花苗配布本数の達成率</td> <td>達成率(%)</td> <td>98</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1,598</td> <td>1,523</td> <td>1,391</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">管理委託花壇面積</td> <td>目標値</td> <td>1,598</td> <td>1,391</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,598</td> <td>1,391</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">花壇面積調査(支所実施)</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>91</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標	肥料・花苗配布箇所	目標値	17	16	16	実績値	17	16	-	算出根拠等	配布先(町内会)件数の達成率	達成率(%)	100	100	-	目標値	38,000	35,546	34,056	活動指標	花苗配布本数	目標値	37,296	35,546	-	実績値	37,296	35,546	-	算出根拠等	花苗配布本数の達成率	達成率(%)	98	100	-	目標値	1,598	1,523	1,391	成果指標	管理委託花壇面積	目標値	1,598	1,391	-	実績値	1,598	1,391	-	算出根拠等	花壇面積調査(支所実施)	達成率(%)	100	91	-	目標値				算出根拠等		実績値				達成率(%)				算出根拠等		目標値				実績値				算出根拠等		達成率(%)				目標値				算出根拠等		実績値				達成率(%)			
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																																									
	活動指標	肥料・花苗配布箇所	目標値	17	16	16																																																																																																									
			実績値	17	16	-																																																																																																									
	算出根拠等	配布先(町内会)件数の達成率	達成率(%)	100	100	-																																																																																																									
			目標値	38,000	35,546	34,056																																																																																																									
	活動指標	花苗配布本数	目標値	37,296	35,546	-																																																																																																									
			実績値	37,296	35,546	-																																																																																																									
	算出根拠等	花苗配布本数の達成率	達成率(%)	98	100	-																																																																																																									
			目標値	1,598	1,523	1,391																																																																																																									
	成果指標	管理委託花壇面積	目標値	1,598	1,391	-																																																																																																									
			実績値	1,598	1,391	-																																																																																																									
	算出根拠等	花壇面積調査(支所実施)	達成率(%)	100	91	-																																																																																																									
			目標値																																																																																																												
算出根拠等		実績値																																																																																																													
		達成率(%)																																																																																																													
算出根拠等		目標値																																																																																																													
		実績値																																																																																																													
算出根拠等		達成率(%)																																																																																																													
		目標値																																																																																																													
算出根拠等		実績値																																																																																																													
		達成率(%)																																																																																																													
補足事項																																																																																																															
・花を育てることで広がる地域内のコミュニケーションを深めることに役立った。また国道沿線の花壇を美しくすることが訪れる人々への心地よい空間の提供(おもてなし)につながっており、来訪者からの評判も良い。																																																																																																															
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																																										
	歳出(千円)		(A) 1,928	1,927	1,690																																																																																																										
	受益者負担(使用料・負担金等)																																																																																																														
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)																																																																																																														
	一般財源		1,928	1,927	1,690																																																																																																										
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,498	1,513	1,382																																																																																																											
コスト指標	受益者	荘川地域住民(各年度4月1日現在)	(B) 1,287	1,274	1,223																																																																																																										

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・地域全体が心地よく住みよい環境づくりに非常に関心が高く、各家庭において花をプランターなどで飾り、沿道の草刈りなども積極的に行い、地域の花壇の管理なども町内会が主体となって積極的に行っている。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・町内会が主体となって実施する事業で地域コミュニティを深める役割も大きい事業である。地域力の向上を図るため見直しの必要はない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・花苗や肥料等の一斉の配布で、町内全域で花壇管理が実施され、地域全体が花で飾られ明るい環境づくりが実践されている。また地域のコミュニケーションづくりの機会となっており効果は大きい。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・町内会への花壇管理の委託料については、市全体のバランスを考慮し、段階的な見直し(縮減)を行っており、コスト削減を図っている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・全町内で花壇管理が実施され、地域全体が花で飾られ明るい環境づくりが実践されている。また地域のコミュニケーションづくりの機会となっており効果は大きい。年2回の花苗配布や水やり、草取りなど年間を通じてかかわる事業であることも効果的である。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・環境整備やコミュニティづくりの場として、継続的に実施していくことが不可欠であるが、高齢化が進展することにより管理面における地域の負担も大きくなり、花壇を廃止する地区が多くなっている。 ・花壇管理が困難な箇所については、植え替えの必要がない多年植物も含め、育てやすく手間のかからない花の選定が必要である。
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・花苗や肥料等の配布は、地域全体の環境整備と各地区のコミュニケーションづくりの機会として効果があり、継続して実施する。 ・手間のかからない管理しやすい花苗の選定が必要。 ・町内会への管理委託料の段階的な縮小。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・手間のかからない管理しやすい花苗の選考を行いながら、引き続き事業を継続していく。 ・町内会への管理委託料の見直しを行う。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3311
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6	文化振興費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	9	「伝統文化を守り、次代へ継承します」 「伝統文化の振興を積極的に支えます」 「心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化の活動をさらに浸透させ広げていく					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	対象者数	1,223 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	芸術文化に触れる機会の充実と地域に根ざした文化振興を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	地域が主体となって取り組む文化振興事業に対する助成 ・文化講演会、文化祭(文化展)の開催		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・平成24年10月2日(火) 文化講演会開催(講師 渡部 陽一氏) ・平成24年11月2、3日(金、土) 文化展、文化祭					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	文化講演会チラシ配布枚数	枚	目標値	900	900	900
		算出根拠等	配布枚数	実績値	900	900	-
	活動指標	文化展チラシ配布枚数	枚	目標値	700	700	700
		算出根拠等	配布枚数	実績値	700	700	-
	成果指標	文化講演会入場者数	人	目標値	220	150	150
		算出根拠等	入場者数	実績値	140	270	-
	成果指標	文化展入場者数	人	目標値	350	350	350
		算出根拠等	入場者数	実績値	350	250	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	71	-
				目標値			
				実績値			
				達成率(%)			
				目標値			
			実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
・荘川町民の皆さんが直に聞くことのできない著名人による講演会の開催。 ・荘川町民が作った作品の展示等、活動成果を披露する場となっている。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 1,100	1,100	1,100		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		1,100	1,100	1,100		
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 850	863	899			
	受益者	荘川町民(4月1日現在)	(B) 1,294	1,274	1,223		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・荘川地域では、聞くことができない著名人による文化講演会を開催することで、文化的環境の醸成が図られている。 ・文化展や芸能祭を行うことで、芸術文化への関心が高まった。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・文化講演会により心を豊かにし、人間関係や生活の向上を図が図られている。 ・文化・芸術に関心を持つことにより、生活や心の潤いを高められている。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・文化講演会、文化展、芸能祭に地域の子どもから高齢者までがつよい、地域全体で文化振興の向上が図られている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト意識を持ち社会教育運営委員会と連携を図りながら事業実施している。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	B	・講演会や展示会など歴史や文化を理解する機会の充実が図られている。 ・文化祭や芸能祭など活動発表の場の提供、美術展覧会や芸術発表など文化意識の高揚が図られている。
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・住民がもっと参加しやすくなるように講演会や展示会などの内容を見直す必要がある。 ・地域住民がもっと参加しやすい講演会とするために、講師に対する住民のニーズを確認しながら企画することが必要。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域の文化振興事業に対し、住民の意識が薄れていくことのないよう、住民のニーズを常に把握する必要がある。 ・荘川地区社会教育運営委員会と連携を図り、事業を実施する。 ・「飛騨高山文化芸術祭こたまーれ2013」を通し、文化芸術に関心を持ち様々な文化芸術活動に参加いただけるよう周知する。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・文化講演会を開催するにあたり、誰もが文化芸術に関心を持っていたりできるように荘川地区社会教育運営委員会と連携を図る。 ・支所のエントランスや高山市図書館荘川分館での作品展示等、活動や取り組みの成果を見ていただける場を設ける。 ・荘川地域のまちづくりに繋がる文化講演会の検討や住民が参加しやすい講演会の開催を行う。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94799	荘川文化財保存振興事業 (荘川民謡保存会助成事業)		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3311
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7	文化財費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	9	「伝統文化を守り、次代へ継承します」 「伝統文化の振興を積極的に支えます」 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにつながる芸術文化の活動をさらに浸透させ広げていく					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川民謡保存会会員及び中学生(保存会参加者)	対象者数	46 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・市無形文化財「荘川民謡」の保存・活動を行っている団体に対して活動助成し、伝統芸能「荘川民謡」の保存や継承を推進することや地域の子どもたちに伝えて後継者を育成する。		
	事業の実施手法(手段)	・小中学校を対象として後継者育成のための学習会開催 ・イベントなどでの荘川民謡披露 ・民謡衣裳等の保存管理		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	各種イベント時の民謡披露(荘川ふるさと夏まつり、町民盆踊り会、ふるさと祭り、新成人を祝うつどい、芸能祭等) ・小中学校を対象として後継者育成のための指導。					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	民謡練習回数	回	目標値	12	12	12
				実績値	12	12	-
	活動指標	算出根拠等	月1回の練習	達成率(%)	100	100	-
				中学生を対象とした指導	目標値	8	8
	活動指標	算出根拠等	中学校への訪問回数	実績値	4	5	-
				達成率(%)	50	63	-
	成果指標	各イベントでの出演回数	回	目標値	6	6	6
				実績値	5	5	-
	成果指標	算出根拠等	荘川民謡披露回数	達成率(%)	83	83	-
				中学生の保存会参加人数	目標値	24	30
	成果指標	算出根拠等	中学生参加者数	実績値	24	30	-
				達成率(%)	100	100	-
	成果指標	算出根拠等		目標値			
実績値						-	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
・中学生の後継者育成の為、3カ月に1回程度、荘川中学校を訪問し総合学習の一環として指導している。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	45	45	45	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			45	45	45	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,047	1,047	978	
	受益者		荘川民謡保存会会員及び中学生(4月1日現在)	(B)	43	43	46

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・少子高齢化による後継者不足が深刻化し、荘川町の伝統芸能を後世に伝えるための育成指導が求められており、ニーズは非常に高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・郷土の伝統文化を守り伝える活動は、市民全体に及び取り組みであり、保存・継承に繋がる取り組みに対する支援は必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・中学生への指導等を行い、後継者育成を行っている。 ・イベントで披露することにより、成果を発表する場を設けていることや荘川の伝統芸能を内外に伝える取り組みを行っている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・荘川民謡の後継者育成のため中学生を指導し、その成果を発表しており、十分に達成している。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・郷土の歴史や伝統文化を守り、次代に伝えるため、文化財などの保存・継承が図られている。 ・荘川町の伝統文化を保存・継承していくため、後継者育成や指導を行っている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・郷土芸能を後世に伝え残していくために、中学校を訪問し指導することにより、後継者育成を行った。 ・イベントで荘川民謡を披露することにより、荘川の伝統芸能を知ってもらうことができたが、更なる後継者育成の取り組みが必要である。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・伝統芸能を伝えるため、後継者育成や活動に対する支援を行う。 ・中学校や各種イベントに参加をすることにより、後継者育成や、荘川民謡を披露し更なる保存・継承を行う。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・今後も伝統芸能を次代に伝えるため、後継者育成や活動の支援を行う。 ・持続的に活動ができるよう団体への支援を行うことにより、伝統芸能を次代に伝えるための後継者育成を進める。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものと整合を図りながら、今後の支援のあり方を検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94799	文化財標柱設置事業		担当課	荘川支所 基盤産業	内線	3331	
予算	会計	1	一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	9	教育費		○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	7	文化財費		D	その他事業		
根拠計画	地域振興計画、高山市環境基本計画							
市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等を解りやすく紹介するためのパンフレット、説明看板等の整備や、人と人との繋がりを大切にする語り部の育成に取り組めます。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(1月～12月)	対象者数	393,853 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	指定文化財について、広く市民に周知するために標柱を設置する。		
概要	事業の実施手法(手段)	過去に設置されているものは木製で老朽化が著しいため、恒久的な石製の標柱に更新する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	文化財標柱を4ヶ所に設置					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	文化財標柱設置本数	本	目標値	4	4	2
		実績値	4	4	-		
	成果指標	算出根拠等	標柱設置本数	達成率(%)	100	100	-
		計画に対する標柱の設置状況	%	目標値	27	27	16
	算出根拠等	観光客入込数(1月～12月)	達成率(%)	実績値	6	10	-
		達成率(%)	22	37	-		
	算出根拠等	目標値	-	実績値	-	-	-
		達成率(%)	-	実績値	-	-	-
	算出根拠等	目標値	-	実績値	-	-	-
		達成率(%)	-	実績値	-	-	-
	算出根拠等	目標値	-	実績値	-	-	-
		達成率(%)	-	実績値	-	-	-
	補足事項						
歴史的に価値のある文化財を後世に引き継ぐため、文化財への理解を高め保全意識の向上を図る。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	748	756	400	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源		748	756	400		
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2	2	1	
受益者		観光客入込数(1月～12月)	(B)	413,299	393,835	460,000	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・文化財を訪れる観光客が多くなったために、場所等の問い合わせが多くなり、設置の要望がある。 ・市民からは、文化財を保存・継承するため設置に関する要望もあり、ニーズは高い。	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・地域が主体となり管理を行っているが、市の指定文化財であることや親しみを理解する機会を充実するためにも、見直す余地はない。	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・毎年度、計画的に設置している。	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・地域全体で共通の仕様書により発注を行っており、コスト縮減に努めている。	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・標柱の設置は、文化財を守り、次代へ継承する取り組みとして効果がある。	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		7 / 10	→	100点換算	70 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)

石柱設置箇所を精査し、より効果が図られるよう設置場所の検討が必要である。

(参考) H24事業評価結果(二次評価)

平成26年度までに計画している標柱を地域振興特別予算において設置する。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

石柱設置箇所を精査し、平成26年度までに事業を完了する。

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・計画している標柱を、平成26年度までに地域振興特別予算において設置する				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3311	
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 目	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	9	教育費		○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	1	体育総務費		D	その他事業		
根拠計画	高山市スポーツ振興計画、地域振興計画							
市長公約	1	「合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします」 ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	対象者数	1,223 人
概要	どういう状態にしたいのか(意図)	・各種スポーツ大会を開催することで、スポーツと触れ合う機会から町民の健全な心と体を鍛えるときともに、一人1スポーツの重要性が認識され、健康で明るい地域づくりを推進する。		
	事業の実施手法(手段)	・事業主体: 荘川地区社会教育運営委員会 ・開催時期: 随時(年間) ・事業内容: 各種スポーツ大会開催		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・バレーボール大会、ゲートボール大会、ソフトボール大会、ファミリー駅伝大会、グラウンドゴルフ大会、バドミントン大会、剣道大会、スキー大会の開催					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	スポーツ大会実施回数	回	目標値	8	8	8
		実績値			8	8	-
		算出根拠等	町民大会開催回数	達成率(%)	100	100	-
	活動指標	参加者数	人	目標値	460	460	460
		実績値			460	479	-
		算出根拠等	全競技参加者数	達成率(%)	100	104	-
	成果指標	平均参加者数	人	目標値	80	80	80
		実績値			80	60	-
		算出根拠等	スポーツ大会参加者数/開催数	達成率(%)	100	75	-
	算出根拠等	目標値					
		実績値					
		達成率(%)					
	算出根拠等	目標値					
実績値							
達成率(%)							
補足事項							
・各種スポーツ大会を行うことにより、スポーツと触れ合う機会を充実し、町民の誰もが参加しやすいスポーツ大会を開催している。 ・スキーや剣道など全国レベルの大会に中学生が出場するなど競技力の向上にも繋がっている。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	300	300	150	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			300	300	150	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	233	235	123	
	受益者 荘川町民(4月1日現在)		(B)	1,287	1,274	1,223	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・各種スポーツ大会への参加者が固定されており、今後のPRやニーズに応じた企画が必要である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・各種大会の見直しなど、支援団体である荘川地区社会教育運営委員会とも調整を行い見直しが必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・健康づくりのために町民が参加しやすいスポーツの普及を行っていく必要がある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・荘川地区社会教育運営委員会との調整を図りながら改善・工夫に取り組む。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境を整備することにより、スポーツ活動の充実を図る。 ・各種スポーツ大会において、地域住民が手を取りあって取り組むことに対して支援する。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・参加者が横ばい傾向にあるため、住民が参加しやすいスポーツを検討していく必要がある。 ・軽スポーツや健康に対する意識改革を行うことで、健康促進を目的としたスポーツの普及やスポーツの行いやすい環境づくりが必要である。 ・指導者の育成や地域住民の体力向上を行い、スポーツ振興を図る必要がある。
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・荘川地域の自然や地域にあるものを活かし、スポーツ推進委員と協力しながら住民が楽しく行える軽スポーツの発掘を進めていく。 ・健康促進につながるウォーキングなどの導入を検討する。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・荘川地域にある自然等を有効活用し、荘川でしか行えない楽しめるスポーツを企画し提案することや、健康促進にも役立てるスポーツを発掘する。 ・住民に対し、生涯1スポーツの推進を図り荘川地域での指導者の育成や地域住民の健康増進や体力の向上を推進する。									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大	○	縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。									

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域おこし協力員活用事業		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3311
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 予算 の 目	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9	企画費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	106	「合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします」 「合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。」					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	対象者数	1,223 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・農村地域の活性化に意欲ある都市住民(若者等)を「地域おこし協力員」として委嘱し、地域で活動する団体等と協働して地域おこし活動に従事するとともに、外部からの視点を活かした地域資源の活用や地域振興策の提案・実施することで地域の活性化を図り、地域力の維持・向上を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	都市部の視点を活かすことを基本として、主に次の地域活動を地域の核となる団体と協力して取り組む ・地域資源の調査・整理 ・各関係団体等の協議会への参加、提案等(地域行事への参加) ・体験活動の実施		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	荘川観光協会を協働団体として活動 ・荘川神社若連中への参加(9月1日～9月16日) ・グリーンツーリズムの参加、荘川自然塾、観光農園の整備、荘川体験交流イベント、移住者相談会参加など ・各種イベント参加					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	地域資源の体験・整理(観光・農林業・自然等地域資源)	件	目標値	20	12	12
		実績値	2	28	-	-	
	算出根拠等	1件/月×12ヶ月	達成率(%)	10	233	-	
	活動指標	会議等への出席回数	回	目標値	18	24	24
		実績値	9	38	-	-	
	算出根拠等	2回/月×12ヶ月	達成率(%)	50	158	-	
	活動指標	自然体験への参加回数	回	目標値		35	40
		実績値	2	35	-	-	
	算出根拠等	5回/月×12ヶ月	達成率(%)		100	-	
	活動指標	地域振興に対する提案(提案件数)	件	目標値		10	10
		実績値	6	14	-	-	
	算出根拠等	10回/年	達成率(%)		140	-	
	成果指標	荘川地域での自然体験実施回数(荘川観光協会主催によるものに限る)	回	目標値		35	40
	実績値	1	35	-	-		
算出根拠等	5回/月×12ヶ月	達成率(%)		100	-		
			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足事項							
・荘川地域の人材を活用した体験事業を実施している。 ・Facebook「飛騨荘川といらいえぞ!」による荘川地域の魅力を発信している。 ・婚活を視点とした「荘川体験交流イベント」を開催(17名参加)するなど、地域課題に対応した事業を実施した。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額			
	歳出(千円)	(A)	1,783	2,891	3,200		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		1,783	2,891	3,200		
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,385	2,269	2,617		
	受益者	荘川町民(4月1日現在)	(B)	1,287	1,274	1,223	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・荘川地域の活性化を図るため、外部からの意見を取り入れることは新たな視点で地域を見直すことができるため、地域のニーズはある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・地域おこし協力員の制度は総務省の「地域おこし協力隊推進要綱」に基づき実施しており、国、県とは競合しておらず地域活性化のためには外部からの視点による新しい提案が必要となるため、市が実施する必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・荘川観光協会が主体となって進めている荘川の地域活性化策の一つである自然体験事業の推進に「地域おこし協力員」が関わり、企画運営を行っており、成果があがっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・国の特別交付税に地域おこし協力員の事業費の一部が算定されている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・地域住民との交流を積極的に行い、荘川地域で昔から神社で行われている村芝居を実施している神社の祭りに参加し、また、地域のお年寄りを対象として地域のボランティアが開催している「健康サロン」や乳幼児を対象とした「どんぐり広場」にも積極的に参加し、幅広く地域住民と交流を図ることができた。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを必要とするかを記入)	・地域おこし協力員の活動内容を荘川町民に周知する必要がある。 ・地域おこし協力員から荘川地域の活性化策を提案できるように協力員のスキルアップを図るため、積極的に研修会に参加できるように支援する。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・活動目標を明確化するとともに活動拠点以外の地域での交流などにより地域との連携を強化する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・今年度の活動目標を明確化し、荘川地区連合町内会の月例会など、荘川地域の活性化策を提案できる場の提供を行う。 ・Facebook等を活用しながら荘川地域の魅力等の情報発信を行う。 ・荘川地域での定住を強く望んでいるため、各町内会の協力を得ながら定住環境の整備に対する支援を行う。
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H25完了予定
	・地域社会の新たな担い手として、これまでの地域活動で培ってきたコミュニティや地域の魅力を活かし、荘川地域に定住できるよう支援を行う。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	61199	荘川ブランド商品開発 販売拡大事業		担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	3341
予算	会計	1	一般	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	商工費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	商工振興費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ・高山市にふさわしい土産物の開発、パッケージ化、販売を支援します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市西商工会荘川支部 会員	対象者数	74 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・地域特産品に関係する生産者、製造者、販売者及び商工関係者が一体となり、都市部や市内外のあらゆる場やあらゆる手法で地域産物の宣伝を行い、新たな販路開拓、販売拡大を促進する事で地域産業の活性化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・中部や北陸方面の都市部において、都市住民や観光客が集う場で物産販売を展開し地域産物を広くPRする。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	名古屋中日ビル物産展参加 京都市「郡上踊りin京都」イベント物産展参加 マーケティング講習会 地域特産品紹介パンフレットと物産販売袋の作成					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	物産展参加回数	回	目標値	2	2	1
				実績値	2	2	-
	算出根拠等	参加回数		達成率(%)	100	100	-
	活動指標	物産展仕入額	円	目標値	570,000	340,000	100,000
				実績値	403,618	93,535	-
	算出根拠等	仕入れ額		達成率(%)	71	28	-
	活動指標	新商品開発数	円	目標値	3	3	1
				実績値	1	3	-
	算出根拠等	売上額		達成率(%)	33	100	-
	成果指標	物産販売売上額	円	目標値	570,000	340,000	100,000
実績値				417,996	96,920	-	
算出根拠等	売上額		達成率(%)	73	29	-	
成果指標	マーケティング講習会	回	目標値	0	5	2	
			実績値	0	4	-	
算出根拠等	実施回数		達成率(%)		80	-	
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 800	800	800		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		800	800	800		
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	10,959	10,811	10,959		
	受益者	商工会組員(4月1日現在)	(B) 73	74	73		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・物産展で、地域産物を販売すると同時に、地域のPRも同時に行っており、ある程度のニーズはある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・今後は、自立した取り組みとなるよう指導が必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・物産展に参加し、地域の特産品の販売をPRすることができ、地域のPRも同時に行う事が出来た。また、マーケティング研修会を行い物産販売に係る知識ノウハウの習得ができた
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・旅費や役員費の支出科目の見直しを行い、コストの縮減に努めた。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・物産展に毎年参加する事で、固定客がつか地域産品のPRにつながっている。また、マーケティング研修会の開催によって、今後の販売展開に効果があった。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・地域の特色を活かした商品の開発が必要である。
---------------------------------------	-------------------------

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・自立した取り組みへの移行を促す必要がある。 ・地域資源の発掘・育成やブランド展開、地域資源を活かした新商品開発などの検討が必要である。 ・他地域との連携を図りながら、都市圏等で開催されている物産展やイベントに参加し、地域資源の販売促進及びPRを積極的に行う必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域の資源を活かした新商品の開発を検討していく。 ・今後は、自立した取り組みになるような仕組みづくりを行う。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定
	・今後も各事業所で今までの経験した商品開発・販路拡大のノウハウを、他の国県等の補助事業を利用して新商品の開発等を行う。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62399	地域観光施設事業 (そばの里五連水車修繕事業)		担当課	荘川支所基盤産業課	内線	3332
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	観光施設費		D	その他事業	
根拠計画	第七次総合計画(後期)、活性化計画						
市長公約	10	○市民のための行政改革を断行します。 ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効利用を行います。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客数(1月~12月)	対象者数	393,835 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	そばの里五連水車は、建設から10年が経過したが、これまで点検整備等を実施していない。荘川町のランドマークである本施設は観光客も多く、老朽化による不測の事故等を防止し、そばの里荘川のシンボルとして今後も有効利用するため、老朽箇所の修繕を行う。		
概要	事業の実施手法(手段)	水車の老朽箇所について修繕を行う。 ・揚水水車腕木、柄杓取替え ・φ 13mm水車コウ先端効 取り付け		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	平成25年度(単年度)事業のため実績無し					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	成果指標	そばの里入場者数	人	目標値			40,000
		実績値					-
	算出根拠等	観光客入込客数調査		達成率(%)			-
		目標値					-
	算出根拠等	実績値					-
		達成率(%)					-
	算出根拠等	目標値					-
		実績値					-
	算出根拠等	達成率(%)					-
		目標値					-
	算出根拠等	実績値					-
		達成率(%)					-
	補足事項						
五連水車は荘川町のランドマークであり、水車を見るために荘川町を訪れる観光客も多く、今後もそばの里荘川のシンボルとして適正な維持管理を行う必要がある。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	0	1,700	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源					1,700		
コスト 指標		受益者1件当たり(円)	(A/B)			55	
受益者		観光客数(1月~12月)	(B)			30,847	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外 点
----	---	---	--------	---------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	平成25年度(単年度)事業完了
---------------------------------------	-----------------

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	平成25年度(単年度)事業のため、評価無し
----------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	平成25年度(単年度)事業完了
-----------------	-----------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H25完了予定
	平成25年度(単年度)事業完了					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62399	地域観光施設事業 (御母衣ダム湖面活用事業)		担当課	荘川支所 基盤産業	内線	3331
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	観光施設費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	国際的かつ福祉観光都市として将来的に永続できる歴史、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(1月～12月)	対象者数	393,853
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 御母衣湖の湖面利用は、荘川町民の長年の夢であったが、関係者の努力により平成24年度から自然体験メニューとして、ボートによる体験活動を実施している 全ての湖面利用者が安全で安心して利用していただけるよう、湖面利用のルール作り、みぼろ湖キャンプ場をボートの乗入経路とした船着き場の整備を行う 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、湖面活用ルールの周知に努める ボート乗入歩道の整備 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	平成25年度新規事業のため実績なし					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	乗入歩道整備延長	m	目標値			105
				実績値			-
	算出根拠等	歩道整備延長		達成率(%)			-
	活動指標	湖面利用客数	人	目標値			500
				実績値			-
	算出根拠等	湖面利用客数		達成率(%)			-
	成果指標	御母衣湖キャンプ場利用客数	人	目標値			3,000
				実績値			-
	算出根拠等	みぼろ湖キャンプ場年間利用客数		達成率(%)			-
	成果指標	観光客入込数(荘川地域1～12月)	人	目標値			460,000
				実績値			-
	算出根拠等	観光客入込数(1月～12月)		達成率(%)			-
				目標値			-
			実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
健康増進、荘川桜物語のPR、湖面利用							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	0	4,200	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					4,200	
コスト	受益者1件当たり(円)		(A/B)		9		
指標	受益者	観光客入込数(1月～12月)	(B)		460,000		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか 社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか 	A (2) ニーズが高い	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市が事業主体であることは妥当か 国・県・民間の活動と競合していないか 	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 目的とする成果があがっているか 成果指標などの目標値の達成状況はどうか 	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 最小限のコストで事業を実施できているか 委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか 国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか 受益者負担は適正か 	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか 総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか 市長公約の実現を図る上で有効に機能したか 	A (2) 効果があった	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外	点
----	---	---	--------	-------	---

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	平成25年度(単年度)完了
---------------------------------------	---------------

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	平成25年度(単年度)事業のため評価無し
----------------------	----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	平成25年度(単年度)完了
-----------------	---------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定
	平成25年度(単年度)完了					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	74799	地域快速環境整備振興事業費 (沿道修景整備事業)		担当課	荘川支所 基礎産業	内線	3331
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	都市計画費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7	快速環境整備費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画、高山市環境基本計画						
市長公約	4	市民が幸せな家庭生活をおくり、安心して暮らせる地域を築くため、地域のコミュニティー活動や観光整備事業の予算枠を確保します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(1月～12月)	対象者数	393,853
	どういった状態にしたいのか(意図)	国道156号158号沿線及び荘川町内の市道等の環境整備(草刈)を実施し、不法投棄の防止及び沿道の環境美化により「すみやすさ」を感じられる町づくりを目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	沿道修景整備(草刈)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 面	H24の実績	国道158号線他沿線の環境整備(草刈り)					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動 指標	沿道修景整備(草刈)	ha	目標値	12	3	3
				実績値	11	3	-
	算出根拠等	整備面積	達成率(%)	92	100	-	-
			目標値	460,000	460,000	460,000	
	成果 指標	観光客数(荘川地域1月～12月)	人	実績値	413,299	383,853	-
				達成率(%)	90	83	-
	算出根拠等	観光客入込数(1月～12月)	目標値	0	0	0	
			実績値	0	0	-	
	成果 指標	不法投棄	件	達成率(%)	-	-	-
				目標値			
	算出根拠等	不法投棄件数	実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
実績値							
算出根拠等		達成率(%)					
		目標値					
算出根拠等		実績値					
		達成率(%)					
補足事項							
環境美化意識の向上、外来植物の駆除							
コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 1,785	1,869	2,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		1,785	1,869	2,000		
コスト 指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 4	5	4		
	受益者 観光客入込数(1月～12月)		(B) 413,299	393,835	460,000		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・環境美化活動が高齢化により、実施出来ない箇所があり、町民から要望が増えている。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・岐阜県が管理する部分を除き実施。 ・町民の環境美化活動が高齢化により、実施できない要箇所を実施する。 ・不法投棄の防止の啓蒙推進のため
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・環境保全や不法投棄防止及び外来植物の駆除にも寄与しており、目標を達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・実施箇所の検討及び適切な時期の実施に努めている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・環境保全が住みよい町づくりの目的に合致している。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・沿道景観の保全に対する要望も多く、実施場所の精査が必要である。 ・地域住民と連携し、効果的な外来種の駆除を図る必要がある。
---	---

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	県が管理する道路の草刈等は、道路管理者に安全確保の観点から事業実施を要望する必要がある。
-----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	不法投棄の防止や外来植物繁殖地の駆除の視点から実施箇所を精査する。
-----------------	-----------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・地域要望に応じた実施箇所の見直しを行い、効果的な実施場所を決める。 ・不法投棄防止のため、定期的なハトロールを実施する。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・県が管理する道路の草刈りは、道路管理者に安全確保の観点から事業実施を要望する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	81399	地域消防施設振興事業 (火の見やぐら解体・撤去事業)		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3321
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	8	消防費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	消防費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3	消防施設費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	40	市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	対象者数	1,223 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・使用されておらず、また、老朽化している火の見やぐらを撤去して欲しいとの地域住民の要望が強いため、火の見やぐらを撤去し、地域住民等が安全で安心して生活できる環境を整える。		
概要	事業の実施手法(手段)	・現在使用されていない火の見やぐらの撤去(撤去対象火の見やぐら設置場所:寺河戸、黒谷、惣則、上野々俣、下野々俣)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	無し					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	撤去する火の見やぐらの数	箇所	目標値			5
				実績値			-
				算出根拠等	火の見やぐら撤去に係る実施率	達成率(%)	
			箇所	目標値			-
				実績値			-
				算出根拠等		達成率(%)	
			箇所	目標値			-
				実績値			-
				算出根拠等		達成率(%)	
			箇所	目標値			-
				実績値			-
				算出根拠等		達成率(%)	
			箇所	目標値			-
実績値						-	
算出根拠等					達成率(%)		-
補足事項							
消防団車庫整備計画において撤去対象となっていない火の見やぐら5箇所について撤去を行う。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
	歳出(千円)			(A)	0	0	4,200
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						4,200
コスト	受益者1件当たり(円)			(A/B)		3,434	
指標	受益者	荘川町民(H25.4.1現在)		(B)		1,223	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげている	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価対象外	平成25年度(単年度)完了
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外 点
----	---	---	--------	---------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・消防団車庫整備計画に位置付けられている残り3箇所(六蔵・黒谷・牧戸)の火の見やぐらについても、撤去時期を検討必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・平成25年度(単年度)事業のため評価なし
----------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・平成25年度(単年度)完了
-----------------	----------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定
	・平成25年度(単年度)完了					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	92299	地域小学校教育振興事業 (新島小学校交流推進事業)	担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3311
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 小学校費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2 教育振興費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画					
市長公約	106	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学6年生	対象者数	19 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・荘川小学校と東京都新島小学校との交流を深めることは、相互の伝統・文化・習慣などを学び、広い視野に立ち郷土を理解することができる。また、義民甚兵衛と孝子勤左衛門の徳徳を偲び、数々の体験や感動の中から郷土愛や親子の絆を深める。		
概要	事業の実施手法(手段)	・荘川小学校が東京都新島小学校を訪問し交流を行う。 ・実施期間:平成25年7月 場所:東京都新島小学校 対象:荘川小学校6年生全員19名・引率3名 ・新島研修に向けての事前学習 ・たからもの発表会(学習発表会)実施		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・実施期間:平成24年7月 2泊3日 ・場所:東京都新島小学校 ・対象:荘川小学校6年生9名・引率3名 ・たからもの発表会(平成25年2月28日)開催					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	新島交流参加者数	人	目標値	17	12	22
				実績値	17	12	-
	算出根拠等	小学校6年生児童及び引率	達成率(%)	目標値	100	100	-
				実績値	100	100	-
	成果指標	新島交流参加率	%	目標値	100	100	100
				実績値	100	100	-
	算出根拠等	小学校6年生児童及び引率	達成率(%)	目標値	100	100	-
				実績値	100	100	-
	成果指標	たからもの発表会(学習発表会)参加者数	人	目標値		200	200
				実績値		200	-
	算出根拠等	参加者数	達成率(%)	目標値		100	-
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)	目標値			-
実績値						-	
算出根拠等		達成率(%)	目標値			-	
			実績値			-	
補足事項							
・新島小学校との交流を行うことにより郷土愛や親子愛の再確認							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 500	420	720		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		500	420	720		
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 29,412	35,000	32,727			
	受益者	小学校6年生+引率者	(B) 17	12	22		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・荘川町の小学生が新島へ行くことにより荘川の歴史の勉強や市民相互のふれあい、交流を通じ、荘川に住み続けたいという思いを育てており、当事業に対する住民の思いは大きい。 ・たからもの発表会(学習発表会)において、保護者や住民の方に対し、自分たちが今年度学んだ新島研修について発表している。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・郷土の歴史に触れることにより、地域を愛する心を育てることができる。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・小学校6年生を対象としており十分に達成している。 ・たからもの発表会(学習発表会)において、今年度新島交流を行ったことに対して学んだことを保護者や地域の方に見ていただき、自分たちがこれまで学んだことを発表している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・1人あたりの適正な研修単価を考慮し実施しており、概ね妥当であるが、コスト削減に努める。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・荘川町と新島村の子どもたちの交流を深めることにより、郷土愛の醸成を図る。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・保護者負担が増大しており、継続的な支援を要望されている。(保護者は積立を開始) ・新島村との交流全般における検討が行われているところであるが、平成27年度以降の当事業の継続に向けた取り組みを検討する必要がある。 ・交流の主体であるPTAに対し、荘川町民全体が支援できるシステムの検討が必要。
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・荘川町民全体が交流を支援するためのシステムを検討する。 ・荘川地域・新島村交流実行委員会が中心となり、新島村交流全般について今後の荘川地域としての取り組みを検討する必要がある。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・継続して実施できるよう支援を検討する。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	21099	地域間交流推進事業 (新島村交流事業)		担当課	荘川支所 地域振興課		内線 3321
	会計	1	一般会計		A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	10	市民活動推進費		O	D その他事業	
予算	特別 位置 付け の 予算						
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	106	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組み活動に支援します。 市民のみならずと協働でまちづくりを行います。					109
	・自主的な地域活動、市民活動の支援と、団体を支える人材の発掘・確保・育成や組織基盤の強化のための支援を行います。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	対象者数	1,223 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	郷土の偉人、上木甚兵衛が没した「新島村」との相互の交流を図る中で、当時の豪農「三島勘左衛門」との関わり等の歴史や両名の功績を学び地域への伝承を図る。 また相互における関わりが今なお伝承保存されている長栄寺、新島村博物館、十三社神社等を訪れることにより、飛騨の孝子物語が語り継がれていることや島民との関わりなど再認識することを目的とする。		
概要	事業の実施手法(手段)	新島村との交流事業 ・実施期間:11月中旬～11月下旬 新島村での対応 ・新島村長、新島村商工会長、新島観光協会長、長栄寺住職、十三社神社宮司、村民との交流		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・参加者が見込まれないことから未実施。					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	実行委員会開催数	回	目標値	1	3	3
				実績値	1	2	-
				算出根拠等	事業実施前2回、事業実施後1回	達成率(%)	100
	活動指標	参加者人数	人	目標値	20	15	10
				実績値	0	0	-
				算出根拠等	10人/1回	達成率(%)	0
	成果指標	募集に対する申込者数	人	目標値	15	15	10
				実績値	1	0	-
				算出根拠等	参加者人数	達成率(%)	7
	成果指標	当事業への参加者に対する助成件数	件	目標値	20	15	10
				実績値	0	0	-
				算出根拠等	参加者人数	達成率(%)	0
				目標値			
			実績値				
			算出根拠等				
			目標値				
			実績値				
			算出根拠等				
補足事項							
・平成24年度において新島村から訪問団が高山市を訪問する予定であったが、中止となった。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
	歳出(千円)			(A)	0	0	180
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			0	0	180	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)			(A/B)	0	0	147
	受益者	荘川町民(4月1日現在)		(B)	1,287	1,274	1,223

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・新島村との交流は平成6年から実施しているものであり、また義民上木甚兵衛に関する住民の関心が高いため、交流実施のニーズはある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・新島村との交流は平成6年から実施しているものであり、また義民上木甚兵衛の石像が贈られているなど従来から深い交流が続いており、今後も住民同士の交流を継続する必要があるため、市としても支援する必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	C	・平成24年度においても参加希望者が最低催行人数を下回ったことが見込まれると判断したため、交流事業を実施できなかったが、「飛騨ん爺」に関する勉強会や「天明水滸伝」新島村調査結果の発表を実施することができ、目的としている現地で飛騨の孝子物語が語り継がれていること、島民との関わりなど再認識することができた。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・参加者1人当たりの支援額を見直し、自立的な交流ができることを目的として受益者負担を算出している。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	B	・地域住民が新島村を訪問するという交流は実施できなかったが、「飛騨ん爺」に関する勉強会や「天明水滸伝」新島村調査結果の発表を実施することができ、後世に新島村との交流を継続することができた。
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	4 / 10	→	100点換算	40 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・地域住民が新島村を直接訪問するという交流については見直し、新島村との歴史的繋がりについて地域住民が学び、認識するという方法へ変更する必要がある。 ・荘川地域における新島村との交流全般において、今後どのように交流を継続していくのかを検討し方針を決定する必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・引続き地域に根付いた交流が続けられるよう、補助金に頼らず自主的運営に向けた取り組みを段階的に進める必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・荘川地域における今後の新島村との交流をどのように進めるか関係者を招集し、方針について検討している。 ・新島村側との協議も必要であるため、新島村との意見交換を行う。
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	○	廃止の検討	H25完了予定
	・地域住民を対象とした新島村交流は中止することを前提に検討する。 ・荘川地域における新島村との交流全般を推進する組織を立ち上げ、地域の歴史を守り伝える活動など歴史・文化を活用したまちづくりのための取り組みを検討する。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	○	廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (広域連携誘客推進事業)		担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	3341
予算	会計	1	一般	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	観光振興費		O	D その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間と行政、観光関係者をはじめ地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図る。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域の観光客入込数(1月～12月)	対象者数	393,835 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	国道156号の利用客を増やすため、郡上市高鷲町・大野郡白川村・荘川町の3地域が連携し国道沿線の観光資源を利用して、点ではなく線で結ぶ観光の誘客を進める。		
概要	事業の実施手法(手段)	・3地域(高鷲・荘川・白川)の観光施設等を紹介した周遊マップの作成。 ・国道156号(さくら街道)をPRし、多くの観光客に周遊してもらうため観光施設を回る「さくら街道スタンプラリー」の実施		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	①高鷲・荘川・白川連携誘客推進事業「3地域周遊ドライブマップ」の作成 ②荘川・白川連携誘客推進事業「さくら街道スタンプラリー」の実施					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	スタンプラリー・周遊マップ配布枚数	枚	目標値	75,000	50,000	32,100
				実績値	50,000	32,100	-
				算出根拠等	配布枚数	達成率(%)	67
	活動指標	スタンプラリー・周遊マップ配布箇所	箇所	目標値	31	36	35
				実績値	31	36	-
				算出根拠等	配布箇所	達成率(%)	100
	成果指標	スタンプラリー応募者	人	目標値	2,000	1,500	1,600
				実績値	1,099	1,512	-
				算出根拠等	応募者数	達成率(%)	55
	成果指標	観光客入込客数(1～12月)	人	目標値	460,000	460,000	460,000
				実績値	413,299	393,835	-
				算出根拠等	観光客入込調査	達成率(%)	90
	成果指標	国道158号交通量(8月14日～15日調査)	台	目標値	4,000	3,000	3,000
実績値				4,740	2,867	-	
算出根拠等				お盆交通量調査	達成率(%)	119	96
			目標値				
			実績値				
			算出根拠等				
補足事項							
国道156号沿いの郡上市高鷲町・白川村・荘川町の3地域が連携をとり、広域的な誘客が推進できた。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 807	721	900		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		807	721	900		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 734	477	563		
	受益者	スタンプラリー参加者	(B) 1,099	1,512	1,600		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・高鷲・荘川・白川地域が連携し誘客を行う事で、広域的に地域の魅力をアピールできる。3地域の評価も良くニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・観光協会が主体となり広域連携事業として行い、市が負担金として支出している。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・スタンプラリーを実施する事で、さくら街道の良さを知ってもらう事により、スタンプラリー実施期間外の桜の時期や紅葉の時期にも国道156号を利用してもらえ成果は上がっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・3地域が負担金を出し実施している事業で、パンフレットの作成やスタンプラリーの台紙の印刷枚数の見直しなど行いコスト削減に努めた。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・広域で行う事で、観光客が目的地以外にも近くの観光施設へ立ち寄りやすくなり効果は出ている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・地域連携によるスタンプラリーの参加者を増やすための宣伝方法の見直し及び抽選賞品の見直しを行う。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・民間団体主体への移行を検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・スタンプラリーの実施を多くの皆さんに知ってもらい参加してもらえよう、告知を行う。 抽選賞品は、もう一度地域へ訪れてもらえるような品々にし、関係団体からの商品の提供を依頼し、負担金が減っても続けられるような仕組みづくりを行う。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・3地域の魅力を紹介しているパンフレットを作成し、3地域が連携し誘客促進を図る。									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大	○	縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・民間団体主体への移行を検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。									

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	74799	地域快適環境整備振興事業 (荘川桜の里づくり事業)		担当課	荘川支所 基盤産業		内線	3331
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	4	都市計画費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	7	快適環境整備費		O	D その他事業		
根拠計画	地域振興計画							
市長公約	1	国際的かつ福祉観光都市として将来的に永続できる歴史、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(1月~12月)	対象者数	393,853
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	県指定天然記念物「荘川桜」は荘川地域のシンボルであり、地域住民はもとより県内外の多くの方々から愛されている。その荘川桜をシンボルとした地域づくりを荘川桜二世の植樹及び特色ある公園整備によって、観光客を誘客するとともに、桜物語の更なるPRを推進し、交流人口の増加により地域振興を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・御母衣ダム沿線の環境整備 ・荘川桜二世の里の整備 ・荘川IC周辺に荘川桜二世を植樹		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	荘川桜の里整備(広場整備)					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	桜植栽本数	本	目標値	0	20	0
				実績値	0	30	-
	算出根拠等	桜植栽本数	達成率(%)		150	-	
	活動指標	みぼろ湖キャンプ場利用客数	人	目標値	3,000	3,000	3,000
				実績値	2,805	2,863	-
	算出根拠等	みぼろ湖キャンプ場利用客数	達成率(%)		94	95	-
	活動指標	ドライブインみぼろ湖利用者数	人	目標値	30,000	30,000	30,000
				実績値	26,023	20,320	-
	算出根拠等	ドライブインみぼろ湖利用者数	達成率(%)		87	68	-
	成果指標	観光客入込数(荘川地域1月~12月)	人	目標値	460,000	460,000	460,000
実績値				413,299	393,835	-	
算出根拠等	観光客入込数(1月~12月)	達成率(%)		90	86	-	
成果指標	国道156号線交通量(5月3日~5日)	人	目標値	3,500	3,500	3,500	
			実績値	2,975	2,779	-	
算出根拠等	日平均交通量調査(荘川支所前)	達成率(%)		85	79	-	
補足事項							
荘川桜を対象とした観光基盤の整備により、観光客やキャンプ場利用者利便性などが向上し誘客が図られる。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 3,318	2,341	3,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		3,318	2,341	3,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 8	6	7		
	受益者 観光客入込数(1月~12月)		(B) 413,299	393,835	460,000		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・ニューツーリズムの推進やキャンプ場利用者のウオーキングなど、観光客や町民からの要望もありニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・国道156号線への誘客や滞在型観光地としての魅力向上、郡上市、白川村、南砺市と連携した広域的な誘客を進めるため、環境整備が必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・市民の憩いの場、また、みぼろ湖キャンプ場の利用者からのニーズは高く、目的とする成果が上がっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・防腐処理した木材の使用により、長期の使用に耐え、維持管理のコスト削減が図られる。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・荘川桜二世の植栽する公園整備で、広く市民や観光客に荘川桜物語が周知され、訪れる観光客の誘客に、効果があった。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	自然体験型の活動の場として整備し、キャンプ場やみぼろ湖周辺の交流人口の増加を図る。
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	荘川観光対策事業と合わせ、事業効果を検証する必要がある。
----------------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	荘川桜の里整備(歩道、転落防止柵、展望広場)
-----------------	------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定
	・みぼろ湖キャンプ場との連携により、荘川桜の里広場の利用者の増加を目指す。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94799	地域文化財保存振興事業 (化石を活用した地域振興事業)		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3321
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 算 入	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7	文化財費		O	その他事業	
根拠計画	第七次総合計画(後期)、地域振興計画						
市長公約	1	新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	対象者数	92,097 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・化石フォーラムをとおし、高山市の化石を全国発信し地域振興に繋げていく。 ・郷土の自然遺産に誇りを持つ子どもたちを育てながら次世代の担い手を育成していく。		
概要	事業の実施手法(手段)	・国立科学博物館や京都大学などの各研究機関との連携を密にし、研究者と協力して化石フォーラム及び、市民を対象にした化石教室を開催する。 ・市民が参加しやすい化石発掘教室を開催する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・化石フォーラムの開催(8/5) ・化石発掘教室の開催(10/7,10/21,10/28,11/11) ・飛騨高山山から市での出張化石教室の開催(8/19)						
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	
	活動指標	化石フォーラム開催回数	回	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1	-			
		算出根拠等	1回/年	達成率(%)	100	100	-	
	活動指標	化石発掘体験教室開催回数	回	目標値	5	3	5	
		実績値	6	4	-			
		算出根拠等	5回/年	達成率(%)	120	133	-	
	活動指標	化石フォーラム講師招聘人数	人	目標値	8	8	8	
		実績値	8	8	-			
		算出根拠等	8人/1回	達成率(%)	100	100	-	
	成果指標	化石フォーラム参加人数	人	目標値	100	100	70	
		実績値	123	120	-			
		算出根拠等	70人/1回	達成率(%)	123	120	-	
	成果指標	化石発掘体験教室参加人数(延べ人数)	人	目標値	60	60	75	
	実績値	83	69	-				
	算出根拠等	15名×5回	達成率(%)	138	115	-		
成果指標	荘川地域のエコツーリズムにおける化石発掘体験の実施回数	回	目標値		5	5		
	実績値		3	-				
	算出根拠等	5回/年	達成率(%)		60	-		
補足事項								
・飛騨生活文化センターにて開催された「飛騨高山山から市」出張化石教室の開催し、多くの市民に対し荘川の化石をPRすることができた。								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額			
	歳出(千円)		(A)	987	798	1,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
	一般財源			987	798	1,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,791	4,222	6,897			
	受益者	化石フォーラム等参加者数	(B)	206	189	145		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	荘川地域は全国でも多数の化石が発掘されており、化石は荘川地域の大切な「宝」のひとつであるが、一方で住民全員が化石の重要性について気づいていないところもある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	化石研究等は民間主導で実施することが困難であるため、行政が主体的に事業を実施する必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	平成24年度で化石フォーラムは14回開催しリピーターも増え、化石に関する関心が高まっていることから、「荘川の化石」というイメージが定着している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	この事業の実施については、荘川化石調査研究推進委員会に委託し、格安の謝金で講師をしていただいているため、効率的な執行を行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	子どもたち、特に高山市内に住む子どもたちに化石を身近に感じてもらうことができ、今後の担い手づくりに寄与することができた。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・荘川地域の化石を活用していくための担い手不足が続いている。 ・荘川地域の化石は日本でも珍しく貴重であることを荘川町内及び町外に周知することが必要である。 ・常時化石に関する質問等に対応できないため、化石研究室等へ学芸員の配置及び拠点施設の整備についても検討する必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・担い手育成を図るとともに、これまでの取り組みの効果を検証し、実施方法等について検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・平成25年度も化石フォーラムや化石発掘教室を開催し、高山市内に住む子どもたちに化石の素晴らしさ、面白さを学んでもらえるようにする。 ・荘川町内で実施されるエコツーリズムの体験メニューとして、化石を題材とした体験活動を進める。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・平成25年度以降も継続して化石フォーラムや化石発掘教室を開催し、高山市内に住む子どもたちに化石の素晴らしさ、面白さを学び、次世代の担い手を育成する。 ・荘川町民を対象とした化石説明会などを実施し、化石に関する地域の理解を深める。 ・学芸員の常設及び化石研究の拠点整備を実施できないかを検討し、常時荘川地域において化石に関する質問や発掘体験ができるよう関係機関と調整を行う。									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善		拡大	○	縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・特別期間終了を見据え、縮小(廃止)を検討する必要がある。								

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3321
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9	企画費		O	D その他事業	
根拠計画							
市長公約	40 106	市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。 合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	対象者数	1,223 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・住民自らが主体となって取り組む地域振興事業を支援することにより、地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進し、特色ある地域づくりによる地域活性化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対し、事業費(材料費等)の支援を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	補助件数	7件				
	指標名						
			単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	申請件数	件	目標値	10	10	10
		実績値		12	7	-	
	算出根拠等	町内会等からの申請件数 年10件	達成率(%)	120	70	-	
	活動指標	補助件数	件	目標値	10	10	10
		実績値		12	7	-	
	算出根拠等	申請件数×100%	達成率(%)	120	70	-	
	成果指標	1件あたりの平均補助額	円	目標値	340,000	340,000	300,000
		実績値		348,583	186,773	-	
	算出根拠等	総補助額/補助件数	達成率(%)	103	55	-	
	成果指標	ハード事業実施割合	%	目標値	75	75	75
		実績値		75	57	-	
	算出根拠等	ハード事業数/補助件数	達成率(%)	100	76	-	
補足事項							
この事業には支所地域のPRと特産品販売の拠点として運営されている、飛騨高山アンテナショップへの運営費補助も含まれる。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	4,183	1,307	3,500	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
財源内訳	一般財源		4,183	1,307	3,500		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	3,250	1,026	2,862	
	受益者	荘川町民(H25.4.1現在)	(B)	1,287	1,274	1,223	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・地域住民が自らの手で地域をより良いものにしよという意識が高くニーズが高い。ただし、高齢化等で労力を提供できない団体が増えている。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・安全・安心・快適な住環境づくり、特色ある地域づくり及び地域の活性化を推進することは、住みよいまちづくりを図ることができるため、市が支援することは望ましい。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・各町内会等の創意工夫ある地域振興事業が実施され、安全・安心・快適な住環境づくり、特色ある地域づくり及び地域の活性化を図ることができた。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・補助交付決定の際に審査しており、適正な支援を行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	A	・地域住民が自ら実施する地域振興事業に対して支援することにより、特色ある地域づくりを推進し、地域住民が自主的、主体的に取り組む機運が高まっている。
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		8 / 10	→	100点換算 80 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)

・どのような取り組みが補助対象となるか分からないという意見があり、具体例を例示して説明する必要がある。
・労力は地域住民が提供することとなっているが、高齢化等で労力を提供できない地域もあることから、他の支援方法を含めて検討する必要がある。

(参考)
H24事業評価結果(二次評価)

・平成27年度以降の対応方法を検討しつつ、当事業による支援が平成26年度までであることを周知し、効率的な予算執行を図るようにする。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

・町内会等に対し具体的な事業例を示して補助の活用を周知した。
・地域振興特別予算が26年度を以って終了するため、継続して荘川地域の活性化や魅力ある地域づくりを行うための支援の方法を検討する必要がある。

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・平成27年度以降の対応方法を検討しつつ、当事業による支援が平成26年度までであることを周知し、効率的な予算執行を図るようにする。 ・平成27年度以降の対応について住民に対し説明する必要がある、全体的な方針を決定する必要がある。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業		担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3321
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9	企画費		O	D その他事業	
根拠計画							
市長公約	40 106	市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。 合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	対象者数	1,223 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・市道、農道、水路、市所有施設等の公共施設の軽微な修繕など地域からの要望に対し即座に対応することにより、安全・安心・快適なまちづくりと特色ある地域づくりによる地域活性化を図る。		
	事業の実施手法(手段)	・市道、農道、水路、市所有施設等の公共施設の軽微な修繕要望に対し、修繕を実施する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 面	H24の実績	修繕実施件数 14件					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動 指標	各町内会からの当初要望提出件数	件	目標値	80	80	80
				実績値	83	89	-
				算出根拠等	約5件×16町内会	達成率(%)	104
	活動 指標	当初要望に対する現場確認件数	件	目標値	80	80	80
				実績値	83	89	-
				算出根拠等	当初要望提出件数×100%	達成率(%)	104
	成果 指標	要望に対しこの事業で対応した件数	件	目標値	10	10	10
				実績値	2	3	-
				算出根拠等	要望提出件数×12.5%	達成率(%)	20
	算出根拠等			目標値			
				実績値			
				達成率(%)			
	算出根拠等			目標値			
実績値							
達成率(%)							
補足事項							
高山市で対応できる要望に対しては、できる限り対応するようしており、軽微なものに関しては即座に対応している。							
コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 2,751	8,530	9,800		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		2,751	8,530	9,800		
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,138	6,695	8,013			
受益者	荘川町民(H25.4.1現在)	(B) 1,287	1,274	1,223			

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・平成24年度において、各町内会から89件の要望があり、他事業での実施することを考慮しても、当事業に対するニーズは非常に高いと考えられる。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市が管理する施設を対象とした修繕であるため、妥当である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・各町内会からの要望に対して、事業の優先度や真に地域振興に資する事業であるかを判断し、その結果について各町内会長に説明し、理解を得て実施している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・修繕方法の工夫等を行い、コスト削減に努めている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・全ての要望に対し現地確認を行い、今後の対応について住民へ説明しており、地域の要望に対応することができた。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・地域から公共施設の修繕に関する要望が多いため、平成27年度以降も要望が出てくることが多く、即座に対応することが困難になる可能性がある。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・平成27年度以降の対応方法を検討しつつ、地域からの要望を踏まえ、平成26年度までの計画的な修繕計画を立て、予算の効率的な執行を図る。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・この事業のみならず、地域振興特別予算が26年度を以って終了するため、継続して荘川地域の活性化や魅力ある地域づくりを行うためにどのように対応するか検討する。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・平成27年度以降の対応方法を検討しつつ、当事業による支援が平成26年度までであることを周知し、効率的な予算執行を図る。 ・平成27年度以降の対応について住民に対し説明する必要がある、全体的な方針を決定する必要がある。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。				